

シンポジウム I 一般教養の立場から 医療系大学における人文科学教育

I 医療系大学における英語教育の現状と課題 総合教育センター 本岡直子

1 はじめに

本発表は、大学における英語教育の在り方を、医療系大学の教育課程において探るものである。英語学習に対する意識調査をもとに、医療系大学に在籍している学生が英語学習に対してどのような意識を持っているかを明らかにし、そのニーズ分析から教育課程に対して示唆を得ることを目的とする。

本発表では、特に以下の点について述べる。

- 1) 大学における英語教育
- 2) ESP(English for Specific Purposes)の実状
- 3) 技能別見地からの英語学習に対する学習者の意識
- 4) 英語学習に対するモチベーション(動機付け)

2 調査方法

本学1年生156名、及び2年生64名に2001年10月に英語学習に対するアンケート調査を行った。また、参考にするため他大学においても同様のアンケートを同時期に行った。

3 結果

- 1) 学習したい英語の技能
- 2) 英語の必要性に対する意識
- 3) 英語以外の授業における英語の必要性
- 4) 英語を学習する目的
- 5) 英語の資格試験に対する意識

4 結論

- 1) 英語学習に対する意識の面からの医療系大学の特徴
- 2) 志向と必要性から導かれる問題

5 今後の課題